様式2 管理運営状況評価書

【対象年度:平成24年度】 (①歴史·文化施設)

1 施設概要•利用情報 (単位:人、%、円、日)

番号	-	5	施設名	掛川市	茶室				担当課名	地域支援課	
区分					内容 • 説明						
	(1)設	(1)設置条例名			掛川市茶室条例						
	(2)施	(2)施設設置目的			茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図る。						
	(3)施設が有する設備、機能の 概要			機能の	茶室:建築面積202.9㎡、広間、小間、立礼席の3茶室がある。						
1	(4)施	也設建設	年度		平成13年度						
	(5)耐震性能の有無				なし						
施 設 及					正面の門の修繕(平	² 成27年、2,583千円)				
び	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)			経費							
指定管理者				込み)							
理											
	(7)指	定管理	者名		(公財)掛川市生涯学習振興公社						
	(8)指	定期間			平成23年4月1日 から 平成26年3月31日 まで						
	(9)施	設の管	理運営形態	צמלי	①指定管理料のみによる運営						
	(10)自主事業の有無				☑ 実施あり □ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3ー(3)欄に記入のこと。						
	(11)指定事業の有無				□実施あり ☑実施なし ※実施ありの場合は、収支状況を3-(3)欄に記入のこと。						
	(12)事業報告書提出の有無				☑ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) □ 提出なし						
	(13)利用者満足度調査等実施 の有無			等実施	☑ 実施あり	□実施なし	※実施ありの場	合、(直近の実	ミ施年度 平原	成24年度)	
	区分				H22実績	H23実績	H24実績	H25当初		備考	
	(1)施設利用者数				14,821	15,872	16,262				

		入館者		13,588	14,070	14,096		
		使用者		1,233	1,802	2,166		
	施設							
2	١.							
利	設備							
利用状況	ت ح							
況								
	(2)稼働率(利用率)							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと		A平日昼間			100.0%		入館日数(232日)/開館日数(232日)
	備しと)		C土日祝昼間			100.0%		入館日数(112日)/開館日数(112日)
		区分		H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3	(1)	指定管理者:	名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
管理	(2)和	间用者一人当	られたりの運営経費	506	523	494		
	(3)i	軍営日数		347	348	344	347	
運営状	(4):	田台 1 日	①正規職員	0.0	0.0	0.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定
況	(4/))運営人員	②臨時職員	6.0	6.0	6.0	6.0	管理施設で働いている実人数を記入してください。

2 施設管理に係るコスト情報

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
①人件費	7,282,829	7,582,592	7,373,653	7,552,000	
②印刷費	0	0	0	20,000	
③通信費	53,623	140,750	128,424	144,000	
④事務用品、旅費、図書費など	0	3,330	888	10,000	

(単位:円、%)

(1)運営コスト(A)	⑤借	造上料	133,040	131,040	131,040	132,000	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4,060	397,452	370,580	350,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)		19,700	41,330	26,545	24,000	
		計	7,493,252	8,296,494	8,031,130	8,232,000	
		対前年度増減率		10.7	△ 3.2	2.5	
	[⊠分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	1)	· 理委託費(外注費)	956,242	4,620,756	4,627,497	4,674,000	
		警備保障	317,520	317,520	317,520	318,000	
		空調機保守点検	182,700	182,700	182,700	183,000	
(2)施設コスト(B)		庭園維持管理	0	3,675,000	3,675,000	3,700,000	
(2)他設コスト(日)		浄化槽維持管理点検	112,980	112,980	112,980	113,000	
		清掃	343,042	332,556	339,297	360,000	シルバー委託料
	[⊠分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	2修	§繕費	186,732	0	123,375	120,000	
	③光熱水費		730,975	744,315	769,540	850,000	
	④燃料費		0	0	0	0	
(2)施設コスト(B)	⑤清掃費		0	0	0	0	
(2/川巴良スコペト(ロ/	⑥保守点検費		0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)		3,032,799	3,038,435	3,261,458	2,924,000	
		計	4,906,748	8,403,506	8,781,870	8,568,000	
		対前年度増減率		71.3	4.5	△ 2.4	
(3)トータルコスト(施設管理	費	合計) (A)+(B)	12,400,000	16,700,000	16,813,000	16,800,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	60.4	49.7	47.8	49.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	5,440,250	5,456,900	5,431,700		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	72.6	65.8	67.6		

3 収支差額の状況 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	5,440,250	5,456,900	5,431,700	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	12,400,000	16,700,000	16,813,000	
収支差額 a) -b)	△ 6,959,750	△ 11,243,100	△ 11,381,300	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(aートータルコスト)	0	0	0	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	0	0	0	
b) 指定事業の支出	0	0	0	
収支差額 a) -b)	0	0	0	
c) 自主事業の収入	0	0	683,650	茶会のチケット収入
d) 自主事業の支出	0	0	592,381	謝礼、食糧費等
収支差額 c)-d)	0	0	91,269	

4 施設管理所管課(市担当者)としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案(いつから、誰が、何を、どうする)
(1) 施設の収支差額の改善について	理料の増加、施設使用料収入の減少によ	施設の管理運営に係る年間のコスト縮減は、すでに限界に達していることから不可能であり、収支を改善するためには施設使用料収入を増やす以外に方法はない。 施設使用料収入を増やすためには、茶道の作法がわからない人でも茶を楽しむために
【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか?知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	るものである。 平成24年度と23年度の入館者数を比較 すると26人増加しているが、呈茶券の販売 枚数が346枚減少しているため、使用料収 入が減少した。	入館するような環境を整備する必要がある。
(2) 利用者数の増加について	の呈茶券の販売枚数は22・23年度を下	掛川市と(公財)掛川市生涯学習振興公社のホームページで茶室を紹介しているが、入館者数は頭打ちである。茶道の作法は難しいという意識から来る「入館しづらさ」が入館者数の頭打ちの要因であることも考えられるため、茶道入門講座を実施しているが、それ以外に気軽に茶を楽しむことができるような工夫をする必要がある。
【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの 指定管理料が支払われていませんか? より多くの利用者を獲得するために、市として どんな事業展開を考えますか?		
(3) 利用者の満足度向上について	「茶道文化の普及及び伝承並びに市民 文化の向上を図る。」という施設の設置目 的は、同じ用途である清水邸庭園より達成	茶室としての政策目的は達成している。
【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか? 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	されているが、これは掛川城の入館者が流れてくることが大きな要因である。	

5 その他自由意見